

たなかまる 田中丸コレクション 古唐津の味わい

会期 2021年6月1日|火|-2021年7月18日|日|

会場 古美術企画展示室

共催 一般財団法人田中丸コレクション

番号	作品名	窯	時代	寸法	所蔵番号
17	斑唐津丸壺茶入	唐津焼 帆柱窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.0 口径3.3 高台径4.3	058
18	絵唐津橋文香炉	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ7.0 口径6.9 胴径7.7	061
19	絵唐津草花文香炉	唐津焼 小山路窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ11.4 口径8.6 高台径5.2	055
20	絵唐津董文向付 五口	唐津焼 祥古谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ4.3 口径12.8 高台径4.0(各)	051
21	絵唐津椿文輪花形向付 五口	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ3.8 口径10.4 高台径5.4(各)	052
22	絵唐津網干文向付 五口	唐津焼 小山路窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.5 口径17.0 高台径5.3(各)	049
23	絵唐津草花文向付 五口	唐津焼 小山路窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ6.0 口径16.7 高台径6.0(各)	048
24	絵唐津木賊四方向付 五口	唐津焼 小溝山窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ7.0 口径8.4 高台径4.2(各)	050
25	絵唐津草文柿蒂形向付 五口	唐津焼 道園窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ8.2 口径11.2 高台径4.6(各)	106
26	絵唐津草花文筒形向付 五口	唐津焼 高麗谷古窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ9.0 口径5.2 高台径4.1(各)	047
27	絵唐津草文皿	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ4.4 口径19.2 高台径7.0	108
28	絵唐津松梅文皿	唐津焼 高麗谷古窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ4.1 口径18.3 高台径4.8	072
29	絵唐津草文三足鉢	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.6 口径18.3	071
30	絵唐津網干杓鉢	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ8.7 口径17.2 高台径6.6	107
31	黒唐津片口	唐津焼 茅ノ谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ10.0 口径20.5 高台径8.6	046
32	絵唐津徳利	唐津焼 道園窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ20.1 口径5.2 底径9.6	079
33	朝鮮唐津徳利	唐津焼 茅ノ谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ13.0 口径3.0 底径6.5	041
34	斑唐津ぐい呑	唐津焼 帆柱窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.5 口径7.5 高台径4.0	102
35	斑唐津歪ぐい呑	唐津焼 帆柱窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.8 口径8.4 高台径3.8	098
36	斑唐津片口ぐい呑	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.1 口径9.2 高台径3.8	100
37	唐津ぐい呑	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ4.3 口径7.9 高台径3.2	099
38	唐津皮鯨ぐい呑	唐津焼 小森谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.7 口径7.5 高台径3.7	096
39	絵唐津草文ぐい呑	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ9.8 口径10.3 高台径5.4	112
40	絵唐津蕨文盃台	唐津焼 小山路窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ9.8 口径10.3 高台径5.4	067



出品No.3 絵唐津菖蒲文茶碗 [重要文化財]



出品No.4 絵唐津木賊文茶碗



出品No.14 朝鮮唐津壺水指



出品No.25 絵唐津草文柿蒂形向付 五口



出品No.27 絵唐津草文皿



出品No.36 斑唐津片口ぐい呑

桃山時代の後半。

元号でいうところの慶長年間（1596-1615）前後というのは、日本陶磁史上、まれにみる創造的な時代です。

信楽焼・備前焼・伊賀焼・瀬戸黒（美濃焼）の大胆な篋目や歪みを加えた破格の造形。

絵志野（美濃焼）の生き生きと描かれた当意即妙の文様。

織部（美濃焼）の斬新で奇抜な片身替のデザイン。

そして、焼成時の「窯割れ」さえもデザインの一つと観るなど、それまでの価値観にとらわれず、革新的なデザインの茶陶が全国各地でつくりだされるという百花繚乱の時代でもありました。

そうしたなか、九州地方では慶長年間に上野焼や高取焼、薩摩焼がはじまります。

唐津焼はすでに天正年間（1573-1593）後半にはじまりますが、豊臣秀吉による朝鮮出兵（1593-1598）後に朝鮮半島から大勢の陶工が連行され、慶長年間には肥前国一体に窯場が拡大。

一挙に国内最大規模の生産地に躍ります。

この新たに築かれた窯場では日常雑器のほかに多種多様な茶陶が量産され、絵唐津や朝鮮唐津などの装飾的な茶陶がつけられます。

特に筆で文様を描いた絵唐津はそれまで国内の窯業技術ではできなかった装飾技法で、美濃焼の絵志野とほぼ同時期に始まり、日本のやきものの装飾や表現の幅を大きく飛躍させました。

こうして唐津焼は窯場数や茶陶のラインナップに加え、舟を利用した大量輸送で大都市の堺や大坂、京へ運ばれ、人気を博していきます。

今回は田中丸コレクションの中から慶長年間（1596-1615）を中心につくられた唐津焼を福岡市美術館所蔵の茶陶と合わせて展示します。

華やかで個性的な茶陶がぞくぞくと全国各地の窯業地につくられるなかで、朝鮮半島の窯業技術でつくられる唐津焼は、一体どのような茶陶をつくりだしていったのでしょうか？

[一般財団法人田中丸コレクション 学芸員 久保山炎]

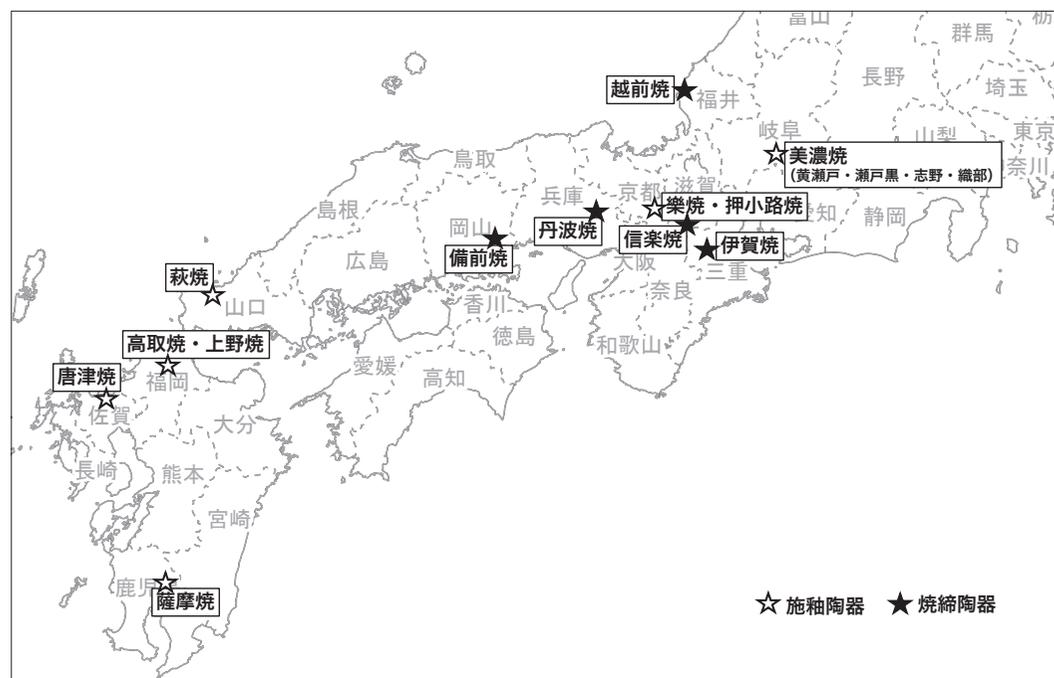
※作品データの記載順序は、出品番号、作品名、窯、時代、寸法、所蔵番号としました。

※「桃山時代」は美術史の区分に従い、天正年間(1573-1593)から慶長年間(1596-1615)頃までとしています。

※作品名中「※」印は福岡市美術館蔵(参考出品)です。

出品作品リスト

番号	作品名	窯	時代	寸法	所蔵番号
参考出品	志野筒茶碗 銘「露香」※	美濃焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ9.8 口径10.3 高台径5.4	6-Ha-65
参考出品	織部沓茶碗 銘「浜千鳥」※	美濃焼	桃山時代 17世紀初期	高さ8.3 口径14.6 高台径6.2	6-Ha-71
参考出品	黄瀬戸緑鉢 ※	美濃焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.3 口径16.3	6-Ha-44
参考出品	伊賀耳付水指 ※	伊賀焼	桃山時代 17世紀初期	高さ20.8 胴径20.9 底径19.3	14-Ha-163
参考出品	備前大平鉢 ※	備前焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ8.9 口径42.7	6-Ha-43
参考出品	上野割山椒形向付 六口 ※	上野焼 釜の口窯	桃山時代 17世紀初期	高さ7.6 径11.0(各)	6-Ha-110
参考出品	高取瓢形耳付水指 ※	高取焼 内ヶ磯窯	桃山時代 17世紀初期	高さ16.3 口径12.0 底径13.8	14-Ha-161
参考出品	高取鉛釉櫛目文耳付花入 ※	高取焼 内ヶ磯窯	桃山時代 17世紀初期	高さ27.3 口径7.0 底径13.8	14-Ha-146
参考出品	高取藁灰釉徳利 ※	高取焼 内ヶ磯窯	桃山時代 17世紀初期	高さ7.6 径11.0 高台径4.8	14-Ha-145
1	奥高麗茶碗 銘「舟越」	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ9.7 口径14.7 高台径6.2	003
2	奥高麗茶碗 銘「閑窓」	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ9.7 口径15.7 高台径6.1	004
3	絵唐津菖蒲文茶碗[重要文化財]	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ9.2 口径12.0 高台径6.3	005
4	絵唐津木賊文茶碗	唐津焼 神谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ9.1 口径12.5 高台径4.8	006
5	絵唐津点文茶碗 銘「奈須野」	唐津焼 道納屋谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ7.5 口径11.1 高台径6.0	017
6	絵唐津草文茶碗	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ5.9 口径12.3 高台径5.0	016
7	絵唐津鳥文沓茶碗	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ6.4 口径15.4 高台径6.5	018
8	唐津御所丸写茶碗	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ8.7 口径11.8 高台径5.6	008
9	唐津緑釉茶碗 銘「岸波」	唐津焼 牛石窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ6.8 口径12.0 高台径4.8	010
10	瀬戸唐津茶碗 銘「波鼓」	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ6.0 口径15.4 高台径5.1	011
11	唐津馬盃茶碗	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ4.8 口径12.5 高台径5.4	014
12	絵唐津点文水指	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ13.0 口径12.2 底径10.5	084
13	絵唐津草文水指	唐津焼 阿房谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ12.4 口径10.4 高台径8.7	085
14	朝鮮唐津壺水指	唐津焼 茅ノ谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ18.8 口径9.0 底径8.7	110
15	朝鮮唐津花入 銘「和美助」	唐津焼 茅ノ谷窯	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ20.2 口径9.5 底径9.2	114
16	唐津櫛刷毛目花入	唐津焼	桃山時代 16世紀末-17世紀初期	高さ24.4 口径9.2 底径12.2	091



慶長年間（1596～1615）頃の主な陶器生産地